

令和2年度人権擁護功労賞



人権イメージキャラクター
人KENまもる君

法務大臣表彰

特定非営利活動法人 H I V 人権ネットワーク沖縄



功 績

● 演劇を通してエイズに関する正しい知識の普及に貢献

特定非営利活動法人H I V 人権ネットワーク沖縄は、平成5年から毎年、エイズに関する正しい知識と情報を提供して予防に寄与するとともに、沖縄県から委託を受け、夜間電話相談を受け付けるなどの救済活動を行っている。また、感染症に関する人権問題として、高校生を主体としたエイズとハンセン病問題の演劇及び講演を全国展開し、教育用DVDを作成するなどハンセン病問題の解消にも尽力してきており、これらの活動は、人権尊重思想の普及高揚と法務省の人権擁護機関が行う人権擁護活動への支援及び協力において、顕著な功績があるものと評価された。

受賞のコメント

沖縄の子どもたちや若者が主体となって演ずる劇「光の扉を開けて」は、2004年の初演以来、全国各地で60回以上公演を続けてきました。H I Vやハンセン病を題材にしたこの演劇は、ハンセン病当事者の皆様の体験をもとにつくられたもので、当事者からの学びを自らの生きる力とし、延べ500人以上の若者が活動のバトンをつないでくれたものです。

今回の受賞は、これまでお世話になった多くの方々への恩返し
の機会にもなると一同喜んでいきます。心より感謝いたします。



令和2年度人権擁護功労賞



法務大臣表彰
(ユニバーサル社会賞)



福祉創造塾

ふれあいの部屋

福祉創造塾ふれあいの部屋
(社会福祉法人柚の木福祉会)



功 績

● 障がい者作業所と小学校の生活空間を共にすることによりノーマライゼーションの心を育成

福祉創造塾ふれあいの部屋（社会福祉法人柚の木福祉会）は、志免町立志免南小学校と協力し、差別のない社会にしたいという理念の下、日本で初めて公立小学校内に障がい者作業所「ふれあいの部屋」を開設し、その後、20年以上にわたり運営を行っている。「ふれあいの部屋」では、児童と障がい者が生活空間を共にすることで、子ども達の中にノーマライゼーションの心が育まれ、それが家庭や地域に広まっている。また、障がい者は自分らしく生きることができ、その姿に閉鎖的であった障がい者の親の姿勢も変化させた。さらに、同校教師に対する障がい者福祉研修の実施や、見学を希望する他団体等の視察も受け入れるなど、地道に地域の中での活動にも取り組んでおり、これらの活動は、共生社会（ユニバーサル社会）の実現に向けて顕著な功績があるものと評価された。

受賞のコメント

人は知らないことには不安を感じます。ここでは障がい者が特別なことではなく、「普通に接することができる隣人であること」を体験で知ることができます。知ることは障がいのあるなしに関わらず、「誰もが安心して暮らせるまちづくり」の第一歩です。これからも志免南小学校のこどもたちと先生方、地域の方々とともに互いを知り、認め合い、包み合える温かいまちづくりに取り組んでまいります。



令和2年度人権擁護功労賞



人権イメージキャラクター
人KENまもる君

法務大臣表彰
(ユニバーサル社会賞)

志免町立志免南小学校



功 績

● 障がい者作業所と小学校の生活空間を共にすることによりノーマライゼーションの心を育成

志免町立志免南小学校は、福祉創造塾ふれあいの部屋（社会福祉法人柚の木福祉会）と協力し、差別のない社会にしたいという理念の下、日本で初めて公立小学校内に障がい者作業所「ふれあいの部屋」を開設し、その後、20年以上にわたり運営を行っている。「ふれあいの部屋」では、児童と障がい者が生活空間を共にすることで、子ども達の中にノーマライゼーションの心が育まれ、それが家庭や地域に広まっている。また、障がい者は自分らしく生きることができ、その姿に閉鎖的であった障がい者の親の姿勢も変化させた。さらに、同校教師に対する障がい者福祉研修の実施や、見学を希望する他団体等の視察も受け入れるなど、地道に地域の中での活動にも取り組んでおり、これらの活動は、共生社会（ユニバーサル社会）の実現に向けて顕著な功績があるものと評価された。

受賞のコメント

このたびは名誉ある賞をいただき、誠に光栄に存じます。ふれあいの部屋の皆様との年間を通した温かい交流を通して、本校児童は「ノーマライゼーションの心」を少しずつではありますが身に付けてきています。これまで、この取組の継続にご尽力いただいたふれあいの部屋の皆様及び本校の先輩方に感謝いたします。



令和2年度人権擁護功労賞



人KENまもる君

法務大臣表彰
(ユニバーサル社会賞)

武市 光平 氏

人権イメージキャラクター
人KENあゆみちゃん

功 績

● 障害を抱えながらも各種イベントでエレクトーン演奏活動を実施

武市光平氏は、知的障害を持ちながら音楽に優れた才を示し、ハンディを全く感じさせないエレクトーン演奏をすることができます。そして、平成12年以降、高知県下の老人クラブ、学校、病院、県のイベントなどで活発な演奏活動を行っており、聴く人の心に音楽の楽しさや感動を送り続けている。さらに、平成29年から年2回、高知県安芸市内小・中学校の人権参観日の日に、高知地方法務局安芸支局所属の人権擁護委員と連携して人権啓発活動（人権教室）を行っており、これらの活動は、共生社会（ユニバーサル社会）の実現に向けて顕著な功績があるものと評価された。

受賞のコメント

この度は、名誉ある賞を頂きありがとうございます。

呼吸確保の為、気管切開をして今年で30年。12才の時、進行性難聴の為、補聴器をつけました。聴こえは悪くなり演奏に支障を来すこともありますが、活動が続けていけるのは、私を支え応援して下さいの方々のおかげです。

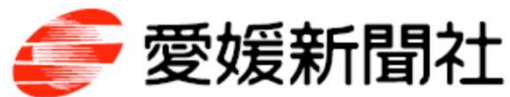
これからも音楽の楽しさをたくさんの人に届けていけるよう一生懸命頑張っていきます。



令和2年度人権擁護功労賞



**全国人権擁護委員
連合会会長表彰**



株式会社愛媛新聞社



功 績

● 人権擁護委員の特集記事等を継続的に掲載

株式会社愛媛新聞社は、県内最大の購読者数を有する愛媛新聞紙上において、人権擁護委員の日に人権擁護委員の特集記事を、また、人権週間中に人権啓発に係る意見広告を、それぞれ２５年以上の長きにわたり毎年継続して掲載している。さらに、「全国中学生人権作文コンテスト愛媛県大会」の後援者としての表彰状の授与、同コンテストへの審査員派遣、法務省の人権擁護機関が実施する啓発活動等の積極的な報道とともに、少なくとも昭和３２年以降継続して、同社役員を人権擁護委員として松山市に推薦するなどしている。これらの活動は、人権尊重思想の普及高揚と法務省の人権擁護機関が行う人権擁護活動への支援及び協力において、顕著な功績があるものと評価された。

受賞のコメント

このたびは栄えある賞を賜り、まことにありがとうございます。お互いを認め合い、助け合う人権尊重社会の実現は、新聞社が果たすべき大きな役割だと考えております。優しく、温かく、誰もが生き生きと暮らすことができる地域を皆さま方とともに築くため、今回の受賞を糧に、これからも日々の紙面づくり等に努めてまいります。

＜県内4市選挙区選出＞		選挙区
松山地区第1選挙区	17500 松山地区第1選挙区	090 932-0969 (市選)
松山地区第2選挙区	17500 松山地区第2選挙区	090 933-2427
高島地区	17500 高島地区選挙区	0937-56 01 80
島根地区	17500 島根地区選挙区	0999-22 05 80
大田地区	17500 大田地区選挙区	0993-50 50 65
佐田地区	17500 佐田地区選挙区	0999-22 07 70

悩む心に寄り添う

きょう人権擁護委員の日 県内4氏の横顔

8月1日就任「人権擁護委員」に就任。1998年に人権擁護委員の任期が満了した。任期で市民の人権を学ぶための勉強会「スター・3」をした。期満の人権擁護委員は22人、(4月)任期満了。男性11人、女性11人)。人権保障が守られる社会にしたいと述べている。人権の重要性を説いた。



山下 宏二 著 4, (73) = 昭和十三年三月二日



田中 隆雄 (Tanaka Takao)

「僕は、これまでいろいろな会社で働いてきた。でも、自分がやりたいことをやるという気持ちで、自分自身で会社を立ち上げた。最初は、自分一人だけでやってたけど、次第に仲間が増えて、今では、自分一人ではやっていけないくらいになった。でも、自分一人ではやっていけないからこそ、仲間と協力して、自分一人ではやっていけないことをやる。それが、自分一人ではやっていけないからこそ、自分一人ではやっていけないことをやる。それが、自分一人ではやっていけないからこそ、自分一人ではやっていけないことをやる。」



原田 千恵美さん(旧姓)・主幹・40歳



「決して無理をしないで、まず自分の健康を大切にしてください。そして、無理をしないで、まず自分の健康を大切にしてください。」



72] 一大井市西大井

[illegible]

8877

[illegible]

100

[illegible]

令和2年度人権擁護功労賞



人KENまもる君

全国人権擁護委員
連合会会長表彰

河北新報社
株式会社河北新報社

人権イメージキャラクター
人KENあゆみちゃん

功 績

● 人権相談窓口や人権啓発活動等の記事を継続的に掲載

株式会社河北新報社は、20年以上にわたり、全国中学生人権作文コンテスト宮城県大会の後援者として、毎年継続的に審査員を務め、「河北新報社賞」として表彰状及び副賞の贈呈を行うなどの協力をしているほか、入賞者の氏名及び上位入賞作品を同社が発行する河北新報に掲載し、人権尊重思想の普及に努めている。また、「人権を尊重し、弱い立場の人たちや少数の意見にも心を配り、暴力や偏見を排すること」を編集指針の一つとして掲げ、長年、人権相談窓口、人権擁護委員の日や人権教室等の人権啓発活動等の周知広報に多くの紙面を割いて無償で協力するなどしており、これらの活動は、人権尊重思想の普及高揚と法務省の人権擁護機関が行う人権擁護活動への支援及び協力において、顕著な功績があるものと評価された。

受賞のコメント

東日本大震災から10年を迎えるこのときに荣誉ある賞をいただき、ありがとうございます。震災後、弊社は「再生へ心ひとつに」をスローガンに、紙面や事業を通じて地域の復興を後押ししてきました。互いの存在を尊重し支え合う社会を目指し、今後もさまざまな暮らしの現場で人権意識の啓発に取り組んでまいります。



令和2年度人権擁護功労賞



法務大臣感謝状

社会福祉法人栃木県共同募金会



功 績

●「子どもの人権絵画コンテスト」の後援及び支出を実施

社会福祉法人栃木県共同募金会は、12年にわたり、宇都宮地方法務局及び栃木県人権擁護委員連合会が主催する「子どもの人権絵画コンテスト」の後援のほか、同コンテストに共同募金配分金を毎年支出し、小学生の人権感覚を醸成させるための人権啓発活動として県内に広く定着させ、地域住民に対して人権問題への関心を高めることに貢献している。この活動は、人権尊重思想の普及高揚と法務省の人権擁護機関が行う人権擁護活動への支援及び協力において、顕著な功績があるものと評価された。

受賞のコメント

共同募金は、地域住民相互の助け合いを基調として広く地域福祉活動を支援していく仕組みであり、人と人が互いを認め合い支え合うことの大切さを育む人権啓発活動と、基本的な部分で共通するものがあります。この度の栄えある賞の受賞を励みとして、地域福祉の推進を図るため、今後とも精進して参ります。



赤い羽根共同募金

令和2年度人権擁護功労賞



人権イメージキャラクター
人KENまもる君

法務大臣感謝状



株式会社滋賀レイクスターズ



功 績

● スポーツを通じて各種人権擁護活動を支援

株式会社滋賀レイクスターズは、11年にわたり、法務局主催の人権啓発活動に積極的に協力しており、平成24年度からはスポーツ人権教室に選手を派遣している。また、プロバスケットボールチーム滋賀レイクスターズは、地域の注目度が高いことから、同社を交えた啓発活動の効果も高く、これらの活動は、人権尊重思想の普及高揚と法務省の人権擁護機関が行う人権擁護活動への支援及び協力において、顕著な功績があるものと評価された。

受賞のコメント

このたびは、名誉ある賞をいただき、ありがとうございます。滋賀レイクスターズはプロバスケットボールチームが持つ求心力を地域のために活かすべく、様々な取り組みを行ってきました。これからも人権意識啓発への参画をはじめ、より良い社会づくりの一助となれるよう活動を続けて参りたいと思います。



令和2年度人権擁護功労賞



人KENまもる君

全国人権擁護委員
連合会会長感謝状

荘内日報社

株式会社荘内日報社

人権イメージキャラクター
人KENあゆみちゃん

功 績

● 人権啓発活動等の周知広報記事を継続的に掲載

株式会社荘内日報社は、25年にわたり、地域住民への人権啓発活動等の周知広報に多くの紙面を割いて無償で協力するとともに、人権擁護機関が行う人権擁護活動へ支援と協力を行うなど顕著な功績がある。また、令和元年度には、人権の花運動及びユニバーサル事業の実施の記事並びに委嘱された人権擁護委員及び感謝状を贈呈された人権擁護委員の紹介記事も掲載するなどしており、これらの活動は、人権尊重思想の普及高揚と法務省の人権擁護機関が行う人権擁護活動への支援及び協力において、顕著な功績があるものと評価された。

受賞のコメント

この度は名誉ある賞をいただきありがとうございます。2021年に創刊75年を迎える弊社は「時代をつなぎ、地域をつなぎ、心をつなぐ」を郷土紙の使命と心掛け、地元に軸足を置いた報道に努めております。今後も人権意識の啓発、人権擁護活動を広く読者に伝え支援してまいります。



令和2年度人権擁護功労賞



全国人権擁護委員
連合会会長感謝状



株式会社アスリートクラブ熊本
(ロアッソ熊本)



功 績

● 各種人権啓発活動や全国中学生人権作文コンテストの後援等を実施

株式会社アスリートクラブ熊本／ロアッソ熊本は、プロサッカーチームとして、10年にわたり、ホームゲームにおいてピッチ内で人権週間の周知や人権擁護委員の役割及び活動内容の紹介を行うことによる人権啓発活動及び人権擁護委員制度の周知や、「全国中学生人権作文コンテスト」熊本県大会の後援など、熊本県内の地域住民に対して、基本的人権の尊重及び人権尊重思想の普及・高揚並びに人権擁護委員制度の周知に努めている。これらの活動は、人権尊重思想の普及高揚と法務省の人権擁護機関が行う人権擁護活動への支援及び協力において、顕著な功績があるものと評価された。

受賞のコメント

この度はこのような名誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。「県民に元気を、子どもたちに夢を、熊本に活力を」のクラブ理念のもと、これからもサッカー、スポーツを通じて、フェアプレーの精神、チームメイトとの助け合い、対戦チームへ敬意をはらうことなどの大事さを伝えていきたいと思っています。今後も一層、人権擁護活動へ貢献していきたいと存じます。

